

商 業 簿 記

問題 (25点)

日商商事株式会社の平成〇年3月期に係る下記の資料にもとづき、以下の問いに答えなさい。

問1 (資料 II) の(1)に関して必要な仕訳を示しなさい。

問2 貸借対照表上の特定の勘定科目の期末残高を  の中に記入しなさい。

問3 損益計算書(当期純利益まで)を完成しなさい。

[解答上の注意]

- 1 決算整理前残高試算表中、題意に直接関係しない勘定科目は、まとめて示したり、? で示してある。
- 2 解答の過程で端数が生じる場合には、その都度千円未満四捨五入とする。また、利益率を計算する過程で端数が生じる場合には、パーセントの単位未満を四捨五入とする。
- 3 税効果会計を適用し、実効税率は、各期とも45%とする。
- 4 決算日のレートは、1ドルが118円である。なお、為替差益と為替差損は両建てとする。

(資料 I)

決算整理前残高試算表				(単位: 千円)
現 金	預 金	125,500	買 掛 金	23,000
受 取 手 形		12,000	長 期 借 入 金	34,200
売 掛 金		28,000	そ の 他 負 債	?
繰 越 商 品		24,800	貸 倒 引 当 金	700
仮 払 法 人 税 等		2,500	建 物 減 価 償 却 累 計 額	48,000
有 価 証 券		93,100	備 品 減 価 償 却 累 計 額	2,025
建 物		90,000	資 本 金	200,000
備 品		8,000	資 本 剰 余 金	60,000
土 地		70,000	利 益 剰 余 金	40,000
の れ		3,000	売 上	433,500
繰 延 税 金 資 産		?	受 取 利 息	1,400
そ の 他 資 産		?	受 取 配 当 金	1,200
仕 入		282,100	有 価 証 券 利 息	600
販 売 費		35,000		
一 般 管 理 費		78,600		
支 払 利 息		1,700		
		?		?

(注) 上記試算表には、外貨建負債として長期借入金 300 千ドル (試算表計上金額 34,200 千円) と、売掛金 200 千ドル (試算表計上金額 23,000 千円) が外貨建資産として計上されている。

(資料 II) 未処理事項

残高試算表には、下記の為替予約に関する処理が行われていない。必要な処理を行うこと。

- (1) 翌期に商品運搬のための大型機械を輸入することが決定されており、これに伴って発生するドル建て債務の支払いに備えて、600 千ドルのドル買いの為替予約 (予約レートは、1 ドル 115 円) を行った。当該為替予約は、ヘッジ会計の要件を満たしている。
- (2) 当期10月1日に、試算表に計上されている長期借入金 300 千ドルについて、1 ドルにつき 117 円で、期間3年の為替予約を行った。予約日の直物為替レートは、1 ドル 115 円である。振当処理によることとし、為替予約差額の処理は月割で行うこと。

(資料 III) 決算整理事項

(1) 決算日現在、当社当座預金出納帳と銀行の当座勘定照合表を突き合わせたところ、以下の不一致の存在が判明した。

- ① 買掛金支払いのために振り出した小切手 300 千円が、未取付であった。
  - ② 商品販売促進のために行った広告費支払いのための小切手 200 千円が、未渡しであった。
  - ③ 売掛金の当座振込みの当社への通知漏れ 200 千円
- (2) 商品の評価については、売価還元低価法を採用している。

商品の当期値入額は、160,900 千円、期末商品実地棚卸売価は、45,000 千円である。期中売価値上額は 12,000 千円、期中売価値下額は 16,500 千円であった。棚卸減耗は生じていない。